

事前評価個表

整理番号	17
------	----

地域（地区）名	<small>こなん</small> 湖南	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	滋賀県	対象市町村	<small>おおつ</small> 大津市ほか7市町
事業実施期間	R5年度～R9年度（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林整備法人、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、県の南部に位置し、京阪神方面への通勤圏内にあり、特に南西部から中央部では住宅開発を中心とした市街地開発が著しい。</p> <p>本地区内の民有林面積は89千haで、人工林が37千ha（人工林率42%）であり、水源涵養や災害防止などの役割を担ってきたほか、都市化が進んでいることから景観、森林とのふれあいなど保健休養の働きも果たしてきた。</p> <p>しかしながら、本地区の近年の森林・林業を取り巻く状況は、林業従事者の減少や高齢化、野生鳥獣被害の発生、木材価格の低迷による林業採算性の低下、森林所有者の森林経営意欲の減退など極めて厳しく、荒廃した森林がみられるようになってきた。このままでは、水源涵養はもとより地域の森林の持つ多面的機能が十分に発揮されず、県民の暮らしに深刻な影響をもたらすことが懸念される一方、木材の再生可能な資源としての重要性や地球温暖化防止のための二酸化炭素の吸収源としての役割など、森林の持つ多面的機能の発揮への期待が高まっている。</p> <p>本事業では、湖南地域森林環境保全整備事業計画に基づき、水源の涵養、県土の保全、地球温暖化防止など森林の有する多面的機能の維持・増進を図るために、適切な森林整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：3,365ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、樹下植栽、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、間伐、 森林作業道整備等</p> <p>総事業費：2,642,145千円（税抜き2,401,950千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C=3.45$</p> <p>（総便益（B）=9,334,528千円、総費用（C）=2,708,301千円）</p>
評価結果	<p>必要性：水源涵養等の公益的機能の維持増進や、森林資源の循環利用を進めていくため、適切な森林整備が求められており、森林資源も充実し木材生産の拡大への期待も高まっていることから、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、間伐などにおける施業の集約化、高性能林業機械の導入や森林作業道の整備など、森林施業の効率化による生産コストの縮減に取り組む計画となっており、事業の効率的が認められる。</p> <p>有効性：本事業の実施により、森林の有する公益的機能の維持・増進が図られ、搬出間伐により木材の安定供給も図られることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

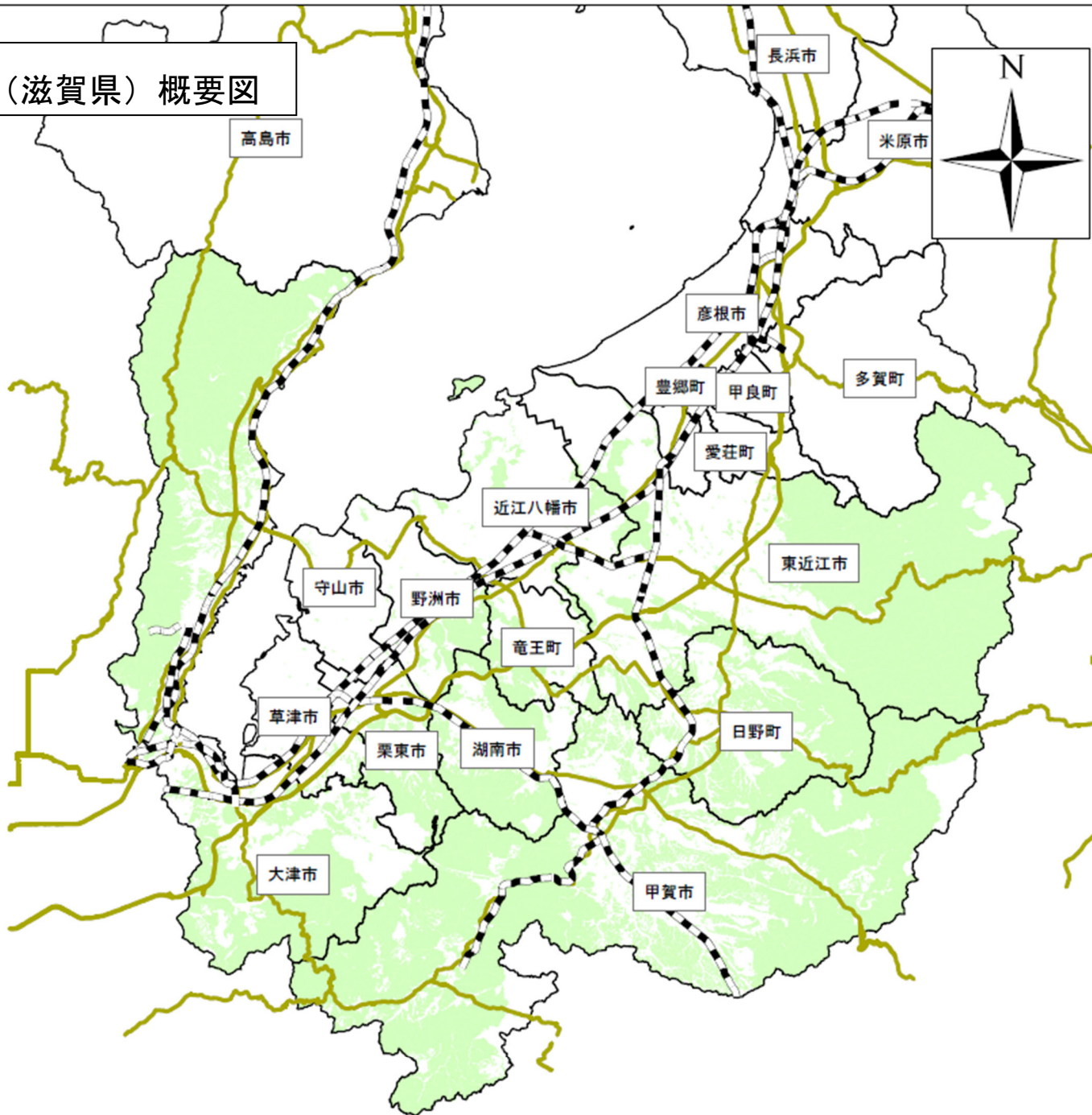
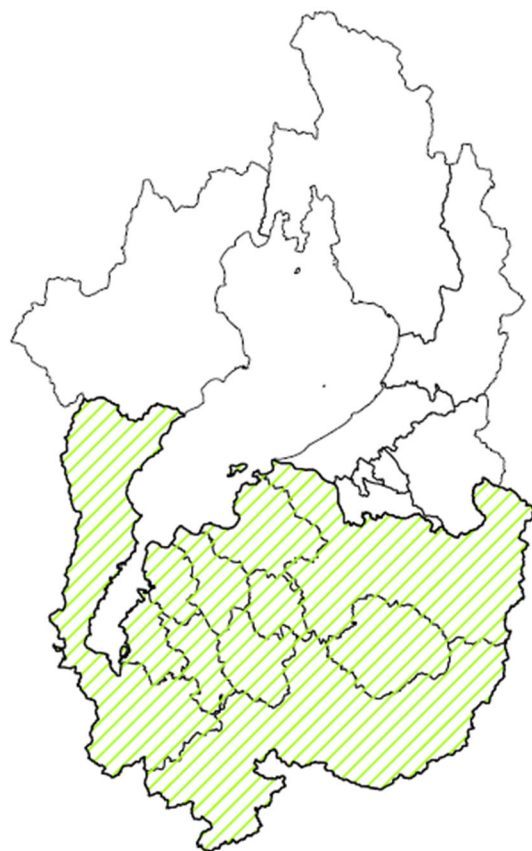
都道府県名：滋賀県

地域(地区)名：湖南^{こなん}

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,004,347	
	流域貯水便益	596,633	
	水質浄化便益	2,278,257	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,769,048	
環境保全便益	炭素固定便益	1,950,166	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	736,077	
総 便 益 (B)		9,334,528	
総 費 用 (C)		2,708,301	
費用便益比	$B \div C = \frac{9,334,528}{2,708,301} = 3.45$		

森林環境保全整備事業 湖南地域（滋賀県）概要図



凡例

- 計画区界
- 森林整備